



# 鉄建 NEWS

令和4年6月30日発行 第331号

## 共に戦う仲間紹介



**(株)ノザワ**  
**札幌支店**  
**山本英樹支店長**

株式会社ノザワ様の「押出成形セメント板～アスロック」は、弊社札幌支店が扱う商材の中での主力商品となり、デザインパネルや各種工法など、他メーカーの追随を許さない豊富なバリエーションを備えております。

今後においても貴社及び工事店含めたトライアングル相互作用により、出荷数量の拡大と更なる躍進を目指したいと思っておりますので、今後とも御鼻屑を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

by札幌支店支店長 丸山

↓ 山本支店長にアンケートにお答えいただきました ↓

### 座右の銘

「継続は力なり」はよく耳にするとお思います、続けていくことの重要性を述べた言葉です。長い人生を歩んでいけば誰でも挫折を味わうことはあります。そして、精神的に落ち込んで立ち直るのが難しくなり、途中で諦めてしまいたくなることもあると思います。しかし、挫折に負けずに努力を続けていくことで、その努力の積み重ねが自分の力になり、いずれは目標や夢が叶うと信じています。

### 鉄建との思い出エピソード

私は入社して30年になりますが、昨年6月末に初めて札幌支店に着任しました。弊社とは主力製品である押出成形セメント板(ECP)アスロックの販売で30年来のお付き合いと聞いております。3年前前に発生しました需要が供給を上回った納期遅延、不適合問題、埼玉工場火災による供給が難しい時期には大変ご迷惑をお掛けしましたが、御協力を頂き困難を乗り越えることが出来ました。有難うございました。

### これからの鉄建に期待することは……

北海道の冬は大変厳しいですが、大自然に囲まれた美しい環境であり、都道府県の魅力度ランキングでも毎年1位になっております。鉄建様におかれましても、北海道では毎年1位のアスロック販売となっており、全国でも上位のランキングとなっております。皆様の結束力で新しいことにチャレンジし、目標と夢を叶えて下さい。今後も社員一同協力して参ります。

## 花 植 え しました



HIT



釧路



帯広



鋼材センター



# 金さん退職

## 6年3か月間お疲れ様でした!

ゆのちゃん◎6年3ヶ月お疲れ様でした!入社した時から異彩を放っていたゆのちゃん。年の離れた人の懐にもスッと入り込んで、どんなジャンルの話もできて、年齢偽っているのかと疑うことが何度もありました(笑)鉄建に馴染むのも早く、根暗な私ともすぐ仲良くなって来て…気づけばなんでも相談できる心強い存在になっていました。本当にありがと〜!普段はギャル(?)なゆのちゃんですが、仕事になると毎日すごい量の仕事をこなし、周りに気も遣えてアクティブで、尊敬するところ、見習わなければいけないところがたくさんありました。これからは毎日会えなくなっちゃうけど定期的に会って近況報告しましょう♪  
本当にお疲れ様でした!

小林 咲希

## 金さんからのメッセージ

6月30日をもちまして退職することになりました。6年3か月間、本当にお世話になりました。電話のかけ方すら知らず、敬語も全く使えなかった私が佐藤さん、竹田さんをはじめ社員の皆さんのおかげでなんと一人前の社会人らしくなれたかと思っています。

特に堀田社長には仕事以外にもダイビングや登山、わかさぎ釣りにカレイ釣り、たくさんお世話になりました。パンコクのハードロックカフェで一緒にボン・ジョヴィの曲を聴いて拳を突き上げ盛り上がったあの夜は一生忘れません。社長、また遊んでください!(笑)

飲み会大好きな私としては、コロナの影響でここ数年皆と一緒にお酒を飲めなかったことや、70周年旅行に行けなかったことは非常に心残りですが……。内藤くんという素敵な同期や咲希ちゃんというかけがえのない友に出会えたことに感謝です。鉄建の皆が大好きです!ありがとうございました!!

## 竹内さんの

## ペット紹介



名前は?

竹内 ふうが

飼ったきっかけは??

長女が連れて帰ってきた



ここが自慢!!!

毛並みがよくて、人懐っこく優しい子

可愛いところ

家に帰る時間くらいになると、玄関の前で待っていてくれるところ  
お尻をプリプリと動かしながら歩く後ろ姿



# 50代にしておきたい 17のこと

著者 本田 健

普段、読書をしない私ですが久しぶりに本屋に行って、読みたいなあと思った本です。

この本は、17のテーマが書かれています。その中で私が思った事は、『50代は健康が一番の資産だと知る』です。

50代に差し掛かり自分自身、健康に心がけているかと聞かれたら、ノーと答えてしまいます。

運動しても、体から悲鳴が聞こえてきます。老いには勝てません。悲しいことです。

もしかしら、持病が出たりして治療を続けなければならぬこともあります。

この本の中で「一病息災」という言葉があります。一つくらい病気を持っている方が長生きできると言うのは、普段から養生することがいかに大切かということなのです。

風邪もひかないという人ほど、自分の健康を過信して、体に無理をさせてしまいがち。なぜなら病気によつては、ある日突然やってくるからです。

そんな日を迎えないで済むことが50代の幸せです。と書かれています。

自分も50代になり、体にも心にも無理させすぎないこと、日頃のケアを怠らないことが大事だと思います。

この本を読んで感じたことをいくつか実行して、仕事や趣味を充実していこうを思います。

帯広鋼材センター 富原正美

## 編集後記

先日町内で役場の防災課の方による防災研修会に行きました。

災害対策には、自助：共助：公助が必要でありその割合が、7：2：1の話もありました。この自助が自然被害を最小限に抑えるためには必要であり、自分や家族の命を守るために重要だと。

防災グッズの準備だけで大丈夫と思っていました。災害が起きていない時に避難場所や家族との連絡方法、持出品の確認、またペットはどのような力など、事前準備が必要だと再確認しました。

最近では、震度6以上の地震や停電前線による豪雨に見舞われております。備えのれは悪いのですね。佐藤